

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第6部門第3区分

【発行日】平成18年3月23日(2006.3.23)

【公開番号】特開2000-137823(P2000-137823A)

【公開日】平成12年5月16日(2000.5.16)

【出願番号】特願平11-288210

【国際特許分類】

G 06 F 17/30 (2006.01)

G 06 T 7/60 (2006.01)

【F I】

G 06 F 17/30 170 B

G 06 T 7/60 150 Z

【手続補正書】

【提出日】平成17年12月12日(2005.12.12)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】 画像を特徴付ける方法において、(a)複数の画素を含む空間構成要素を規定するステップと、(b)前記空間構成要素に対応するテスト領域を前記画像上に複数描くステップと、(c)各々の前記テスト領域の色を量子化するステップと、を有することを特徴とする画像を特徴付ける方法。

【請求項2】 各々の前記テスト領域の色を、平均色と代表色の少なくとも1つとして量子化することを特徴とする請求項1に記載の方法。

【請求項3】 各々の前記テスト領域の色を、赤、緑、青の各色の強度の平均として量子化することを特徴とする請求項1に記載の方法。

【請求項4】 画像を特徴付ける方法において、(a)複数の画素を含む空間構成要素を規定するステップと、(b)前記空間構成要素に対応するテスト領域を前記画像上に複数描くステップと、(c)前記画像上の各々の前記テスト領域の色の均一性をテストするステップと、(d)十分に均一な色をもつ各々のテスト領域の色を量子化するステップと、を有することを特徴とする画像を特徴付ける方法。

【請求項5】 色の関数としての前記テスト領域の母集団の分布によって前記画像を特徴付けるステップをさらに含むことを特徴とする請求項4に記載の方法。

【請求項6】 画像を特徴付ける方法において、(a)複数の画素を含む空間構成要素を規定するステップと、(b)前記空間構成要素に対応するテスト領域を前記画像上に複数描くステップと、(c)前記画像上の各々の前記テスト領域のテクスチャを量子化するステップと、を有することを特徴とする画像を特徴付ける方法。

【請求項7】 各々の前記テスト領域のテクスチャを、平均テクスチャとして量子化することを特徴とする請求項6に記載の方法。

【請求項8】 テクスチャの関数としての前記テスト領域の母集団の分布によって前記画像を特徴付けるステップをさらに含むことを特徴とする請求項6に記載の方法。

【請求項9】 画像を特徴付ける方法において、(a)複数の画素を含む空間構成要素を規定するステップと、(b)前記空間構成要素に対応するテスト領域を前記画像上に複数描くステップと、(c)前記画像上の各々の前記テスト領域のテクスチャの均一性をテストするステップと、(d)十分に均一なテクスチャをもつ各々の前記テスト領域のテクスチャを量子化するステップと、を有することを特徴とする画像を特徴付ける方法。

【請求項 10】 テクスチャの関数としての前記テスト領域の母集団の分布によって前記画像を特徴付けるステップをさらに含むことを特徴とする請求項 9に記載の方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

【課題を解決するための手段】

請求項 1 の発明は、画像を特徴付ける方法において、(a)複数の画素を含む空間構成要素を規定するステップと、(b)前記空間構成要素に対応するテスト領域を前記画像上に複数描くステップと、(c)各々の前記テスト領域の色を量子化するステップと、を有することを特徴としたものである。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0015

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0016

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0016】

請求項 4 の発明は、画像を特徴付ける方法において、(a)複数の画素を含む空間構成要素を規定するステップと、(b)前記空間構成要素に対応するテスト領域を前記画像上に複数描くステップと、(c)前記画像上の各々の前記テスト領域の色の均一性をテストするステップと、(d)十分に均一な色をもつ各々のテスト領域の色を量子化するステップと、を有することを特徴としたものである。

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0017

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0017】

請求項 5 の発明は、請求項 4 の発明において、色の関数としての前記テスト領域の母集団の分布によって前記画像を特徴付けるステップをさらに含むことを特徴としたものである。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0018

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0018】

請求項 6 の発明は、画像を特徴付ける方法において、(a)複数の画素を含む空間構成要素を規定するステップと、(b)前記空間構成要素に対応するテスト領域を前記画像上に複数描くステップと、(c)前記画像上の各々の前記テスト領域のテクスチャを量子化するステップと、を有することを特徴としたものである。

【手続補正 6】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0019

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0019】

請求項7の発明は、請求項6の発明において、各々の前記テスト領域のテクスチャを、平均テクスチャとして量子化することを特徴としたものである。

【手続補正7】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0020

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0020】

請求項8の発明は、請求項6の発明において、テクスチャの関数としての前記テスト領域の母集団の分布によって前記画像を特徴付けるステップをさらに含むことを特徴としたものである。

【手続補正8】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0021

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0021】

請求項9の発明は、画像を特徴付ける方法において、(a)複数の画素を含む空間構成要素を規定するステップと、(b)前記空間構成要素に対応するテスト領域を前記画像上に複数描くステップと、(c)前記画像上の各々の前記テスト領域のテクスチャの均一性をテストするステップと、(d)十分に均一なテクスチャをもつ各々の前記テスト領域のテクスチャを量子化するステップと、を有することを特徴としたものである。

【手続補正9】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0022

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0022】

請求項10の発明は、請求項9の発明において、テクスチャの関数としての前記複数のテスト領域の母集団の分布によって前記画像を特徴付けるステップをさらに含むことを特徴としたものである。